

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日: 2022年9月5日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	ドイツ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: パッサウ大学 現地言語: passau university
留学期間	2021年9月～2022年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	?年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	business administration <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年9月1日
明治大学卒業予定年	2024年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 4月下旬～8月中旬 2 学期: 10月上旬～2月中旬 3 学期: 4月下旬～8月中旬 4 学期: 10月上旬～2月中旬 (記入例/1学期: 4月上旬～7月下旬, 2学期: 9月中旬～2月上旬)
学生数	12,000 人
創立年	1978 年

留学費用項目	現地通貨 (ユ ーロ)	円	備考
授業料	87*2=174	24,170 円	セメスターチケット含む
宿舍費	325*12=390 0	54 万 1742 円	
食費	25*44(週) =1100	15 万 2799 円	
図書費	15*2=30	4,167 円	ドイツ語の教科書2冊
学用品費	50	約 6000 円	ペンやノートなど
携帯・インターネット費	30*11=330	45,878 円	
現地交通費	0	0 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	約 7000	約 100 万円	20か国ほどの旅行含む
被服費	約 600	83,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	108.81*11=1 196.11	16 万 6288 円	形態: TK
渡航旅費	往復約 800	約 11 万円	
ビザ申請費	85	11,200 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	15,265	2145,244 円	

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
往路 出発地:成田 目的地:ミュンヘン 経由地:シンガポール 復路 出発地:ミュンヘン 目的地:成田 経由地:アブダビ
<b>渡航費用</b>
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:シンガポール航空 料金:約7万円 復路 航空会社:エティハド航空 料金:約4万円 ∴合計:約11万円
<b>航空券購入方法</b>
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:student universe) <input type="checkbox"/> その他( _____ )
<b>滞在形態関連</b>
<b>1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)</b>
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: _____) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
<b>2)部屋の形態</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)
<b>3)共有部分</b>
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
<b>4)住居を探した方法:</b>
地元の不動産屋さんで
<b>5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>
現地に着くまでアパートがなく、大変不安な状態で行きました。ただし、私の場合コロナ禍で日本から留学に行けるかどうか分からない期間に寮の申請が終わってしまったという特例でしたので、これから行く人は大学からの案内を確認し、寮に住むことをお勧めします。Donau の寮は市の中心部から遠すぎるのでお勧めはしません。選択可能であれば kapfinger の寮を選ぶといいかも。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

パッサウ大学周辺は、東京と同程度かそれ以上に治安がいいです。その為、大学付近では必要最低限(貴重品は身に着けて歩く)などの対応をすれば問題ありません。

パリに旅行に行った際に、一緒に行った友達がスリにあいそうになりました。パリはヨーロッパの観光地の中では特にスリが多いので、手持ちの小さなバックパックにも南京錠をつけておくと安心です。

また、旅行に行く際は必ず治安について複数のサイトで調べるようにしていました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

1年間しかいないのに、ドイツのインターネットの会社は基本的に2年契約なので wi-fi が家で使えない状態で1年間過ごしました。ただし、ケータイをルーター代わりに利用し、zoom などを受けなければならない場合は学校の free wifi を使えば特に問題なかったです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ドイツで留学するには、閉鎖口座というものを作ってそこに留学期間の資金が充分にあることを証明しなければなりません。

閉鎖口座から直接お金は使えないので、ヨーロッパのインターネットバンキング、N26 というものを作ってそこに月861ユーロ自動的に送金してもらっていました。

足りない場合は日本の VISA カードを使っていました。(都度親に送金してもらう)

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

食べ物などは基本的に asian market に行ったらあるので問題ありませんが、やはり高いので出汁などは持って行った方がいいかもしれません。箸、トイレトペーパー、女の子だったら生理用品など、DM(ドラッグストア)に行けば見つかりますが、最初の方は何が良いのかもわからないと思うので少しはもっていくと安心です。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。	
15 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位	<input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか？ ドイツ語 A1A2 の授業は生徒がクラスに入りきらなくなったら取れない可能性はあります。		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):	
Deutsch als FremdspracheGrundstufe1/A1	ドイツ語 A1	
科目設置学部・研究科	学部問わず	
履修期間	2021 年10月～2022年2月	
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義しながらアウトプットする (チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回	
担当教授	Dina Omar	
授業内容	ドイツ語の文法や文化をテキストに添い学ぶ	
試験・課題など	リスニング、リーディング、ライティングを行う。ゲーティンスティテュートの試験とほぼ同じ形式。	
感想を自由記入	私が受講した Dina 先生はきちんと勉強したい人にはお勧めです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):	
Deutsch als FremdspracheGrundstufe1/A2	ドイツ語 A2	
科目設置学部・研究科	学部問わず	
履修期間	2022 年4月～2022年8月	
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義しながらアウトプットする(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回	
担当教授	Dina Omar	
授業内容	A1 と同じ	
試験・課題など	A1 と同じ	
感想を自由記入	A1 と比べて人数が減り、先生との距離も近く楽しく受講できました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Marketing (Online)		国際マーケティング(オンライン)	
科目設置学部・研究科	business administration		
履修期間	2021年10月～2022年2月		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンラインでのオンデマンド形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	Prof. Dr. Dirk Totzek		
授業内容	基本的なマーケティングの仕組みから始め、それぞれの国の文化の違いに触れつつ、それをその土地でのマーケティング及びビジネスにおいてどのように活かすかについて学ぶ。		
試験・課題など	open question 形式で、授業内容に関する試験、または計算問題		
感想を自由記入	オンデマンド形式なのでモチベーションを保つのが大変でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Neo-Victorianism (HYBRID)		ネオ・ヴィクトリアニズム	
科目設置学部・研究科	philosophy		
履修期間	2021年10月～2022年2月		
単位数	0		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンラインとオフラインのハイブリッド型(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	Prof. Dr. Lucia Krämer		
授業内容	ヴィクトリア時代の小説や芸術を基にした1900年代後半の美術、芸術、小説、映画などについて学ぶ。		
試験・課題など	open question 形式で、先生が授業中に言った内容(レジュメに含まれない場合もある)から問題が出る		
感想を自由記入	私の準備不足で単位はとれませんでした。非常に興味深い内容だったので掲載します。		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
1 年間休学して就職活動をするので特に使っていません。
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。 (内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
未定
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
就職活動はこれから始めますが、留学期間は、絶好の自己分析期間だと思います。たくさん友達を作り、夜まで語り明かして自分の人生観を第2言語で表現するという経験はなかなか無いものでした。留学は確実に就職活動にプラスに働き、視野が何倍にも広がります。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	2020 年留学開始予定だったが、この時期に新型コロナウイルスの感染拡大により延期の話が出る
	4月～7月	留学に行けない代わりに何かしようと、プログラミングスクールに通う。
	8月～9月	同プログラミングスクールでマーケティングのインターンシップ生として働き始める
	10月～12月	同上
留学開始年	1月～3月	コロナにより留学の実施はほぼ中止との報告
	4月～7月	6月頃に留学許可が出る。早急に入学許可書の取得
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	冬学期
留学/帰国年	1月～3月	試験終了、スペインのマヨルカ島、ロンドン、パリなどに滞在
	4月～7月	夏学期
	8月～9月	試験期間、パッサウの ICUnet という会社でインターンシップ
	10月～12月	日本で就職活動の開始

## 留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

### 【留学先を選んだ理由】

高校生の頃に世界史を学んだ際に、第2次世界大戦の歴史に興味を持った。特に、日本とドイツが同じような経路を辿ってしまったこと、また歴史は繰り返すという事実から、日本人がこの事実を真面目に受け止めていないのはどうなのかという問題意識から、実際にドイツに行ってドイツの戦争教育の実情を見てみたいと思ったのがドイツにしようと思ったきっかけでした。

しかし、ドイツ語に触れたことはなかったため、英語を話せれば留学できるドイツの大学にしようと思い、明治の協定留学先から探したところパッサウ大学を見つけて、日本人が少なそうだということもあり決定しました。

### 【留学生活全般について】

本留学報告書を読んでいる方はお気づきかもしれませんが、ほとんど授業を取らずに過ごした1年間でした。しかし何もしていなかったというわけではなく、大きなもので挙げると①DDADという団体が行っている Europe meets school というプロジェクト ②同団体が行っているパッサウの貧しい子供たちへのボランティア活動 ③ICUnet という会社での中期インターンシップ など、大学の外に出て精力的に活動していました。それぞれの場で様々な人に出会い、彼らの世界について、社会についての話を聞いたことは私の価値観を大きく変え、留学前よりも人間的にも、能力的にも本当に成長できたと思います。

また、初めのオリエンテーションの期間で出会った友達と1年間一緒に過ごし、何でも話せる家族のような仲になれたことは、私に「○○人」という観点で人を見るのではなく、その人個人を見て友達になるということを教えてくれました。

この子たちとはたくさん旅行に行き、たくさん会話をしたのですが、その土地に行くと、旅行先で何かを見たときに生まれる会話というものがありました。そこで生まれる気づき、学び、はそこでしか生まれないものなので、20か国の旅行の中で旅をすることが大好きになりました。パッサウ大学はヨーロッパのほぼ中心にあるため、旅行に行きやすいということも大きな特徴だと思います。

### 【後輩学生へのアドバイス】

私の留学体験記と、2019年度にパッサウ大学に行かれた方との留学体験記を見比べると、私は全く勉強せずに遊びまわっているように見えるかもしれません。それはある程度事実だと思います。

ただし私は、留学の目的の一つを現地の小学校に行くということに設定してそれを達成しましたし、その他有意義な活動に時間を割くために授業時間を削ったと堂々と言えます。

そのことに後悔は全くしていません。目的を持って留学に行けと言われるかもしれませんが、私はふんわりとした目標を半学期で達成してしまって、そのあと何をすればいいのか途方に暮れてしまいました。例えばトビ立て！留学 JAPAN に参加している友達は1年間の予定をしっかりと立てて行っていましたし、それが正しい形なのかもしれません。

しかし、そこから何か動いてみて目標を再設定し、常に自分が何をしたいかを考えていくことが大事だったと思います。

私の場合常に google docs に自分史を更新していました。

留学に行けるお金と時間があるならば、どんなにふんわりとした目的でもいいので飛び込んでみてください。何も動きださなければ何も始まらないです。何か困ったことがあれば、私でよければ相談に乗るのでぜひ国際教育事務室に私の連絡先をもらってください(笑)

これからあの素敵すぎる1年間を過ごせる皆さんが羨ましくて仕方ありません。留学準備、留学中、しんどいことはたくさんあるかもしれませんが、乗り越えたらきっと大きく成長できると私が保証します。応援しています。頑張ってください！